

放課後等デイサービス ジュニアクラブ

作成年月日	令和7年1月
法人理念	和顔愛語
支援方針	<ul style="list-style-type: none">●職員一人一人が責任を持って業務を遂行しながら、必要な場面では積極的に協力し合える雰囲気を作る。●保護者や学校、関係機関とのコミュニケーションを深め、信頼関係を築く。●利用児一人一人への理解を深め、具体的な目標設定に基づいた支援に努める。そして評価をもとに目標や支援方法について 継続的に改善する。●児童期だけでなく、みらいの他事業所とも連携しながら将来を見通した支援を提供していく。
営業時間	10:15~19:15 (月~金) 8:30~17:30 (土)
送迎の有無	無

ジュニアクラブ 活動プログラム内容 ～健康・生活～

家庭・学校との連携をはかりながら、健康維持と生活の自立を目指した支援をします。

<低学年>

睡眠・食事・排泄等の基本的な生活習慣を確立し、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身につけられるよう、ご家庭と連携をはかりながらサポートします。

<中学年>

学童期の社会性を育む中で、清潔やマナー等を意識し、自分で時間や物の管理を含む生活のマネジメントをしていく基盤作りができるようサポートします。

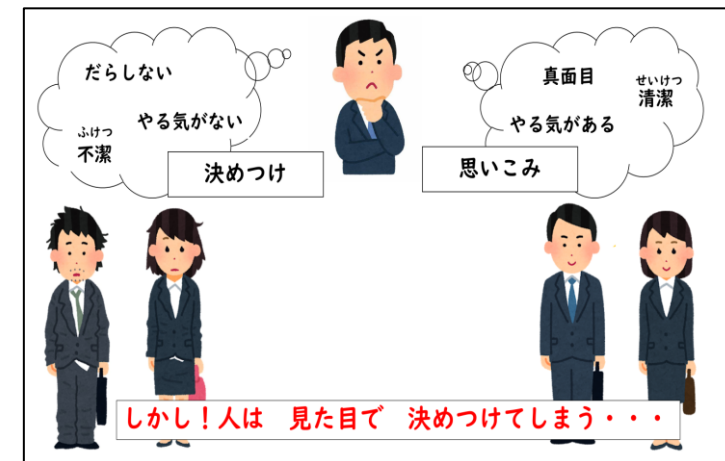
また、第二次性徴への対応について、本人や保護者と共に考えていきます。

<高学年>

生活面の自立を目指し、身だしなみや体調管理・買い物・掃除・お小遣いの管理・交通機関の利用・

作業を計画立てて遂行する能力や、余暇を楽しむ能力等を育てていきます。

お子様が自分の性的発達について正しく理解し、向き合っていけるよう支援していきます。



ジュニアクラブ 活動プログラム内容 ～運動・感覚～

感覚特性に応じた環境調整を行い、コーピングスキルを含む自分の心身の状態に合わせた対処がしていけるような取り組みを行います。

<低学年>

屋内外での五感を使った運動プログラム・遊びを通して、健康で丈夫なからだづくりや生活に必要な巧緻動作スキルを育てていきます。

<中学年>

自身の心身の状態を意識し、コントロールスキルを育てていけるよう支援していきます。また、楽しみながら文房具品・調理器具等を使用し、高度な協応性・巧緻性の力を高めていけるサポートをします。

<高学年>

お子様の身体的発育と心理的発達を丁寧にみていきます。また、自分の心身の状態を知り、コントロールできる経験を積んでいけるようなプログラムを組んでいきます。



ジュニアクラブ 活動プログラム内容

～認知・行動～

それぞれのお子様の認知特性に応じた教材の選定・提示方法により、能動的に理解し実行に移せる経験を積んでいきます。

<低学年>

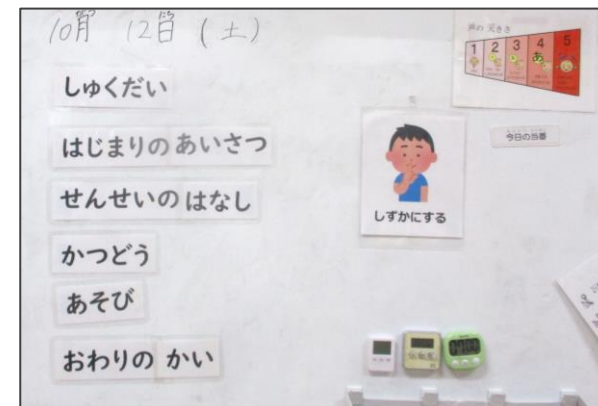
活動に見通しをもって参加することで、目的的行動の経験を積み、達成感や満足感をしっかり感じてもらえるよう環境面の配慮と状況に応じて個別対応を行います。

<中学年>

教科学習の補助活動と併せて、暗黙のルールが見える化したツール等を活用した小集団でのゲーム活動を通して、分かる—できるという自己有能感・自己肯定感を育てていきます。

<高学年>

集団活動を行う中で自己の理解に繋げ、行動コントロールの力を育てていきます。



① 1から作り直す。

② 「まあ、いいか」と 思うことにする。

③ うまいいかなかった ところ だけ 直す。

④ ほかのこと を する。(たとえば……)

⑤ ほかの人(先生など)に そうだん してみる。

ジュニアクラブ 活動プログラム内容 ～言語・コミュニケーション～

小集団活動を通してコミュニケーション手段の選択と活用できる力を育み、状況に応じたコミュニケーションができるよう取り組んでいきます。

<低学年>

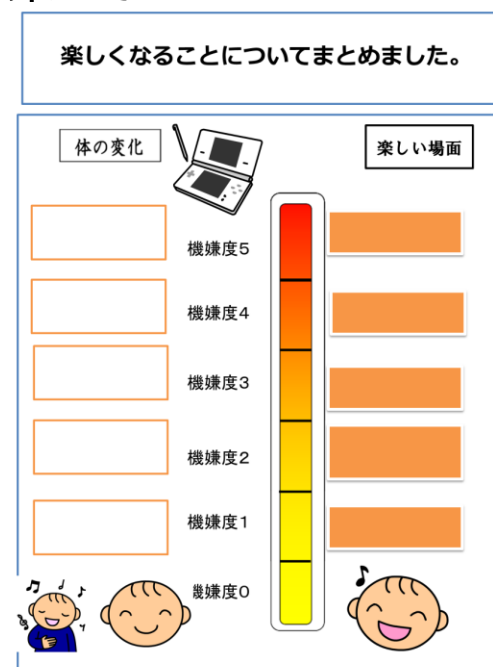
他児と一緒に楽しめる活動を通して、共に何かを共有してやりとりすることの楽しさを感じる機会をつくっていきます。

<中学年>

話し合い活動や協力活動の中で、意見の発信の仕方や他者の意見の聞き方等を学んでいきます。

<高学年>

グループ内のリーダーを中心に物事を決めたり進めていく経験を通して、他者の行動や意図を理解・推測した上で自分の言動を考える機会をつくっていきます。



ジュニアクラブ 活動プログラム内容 ～人間関係・社会性～

肯定的に自己を理解することで気持ちや情動を調整する力を育み、小集団活動における仲間作りを通して、年齢や特性に応じた社会性の発達を支援していきます。

<低学年>

他児との連合的な遊びや協同遊びの中で、他者を客観的に見たり、自分の言動に意識を向けられる機会をもうけていきます。

<中学年>

集団内のルールの中で楽しめたり自己有能感を感じられる経験を重ね、相互理解やお互いの存在を認め合える仲間づくりに繋がるようサポートしていきます。

<高学年>

ご家庭や学校と連携しながら自分のことを肯定的に捉えていけるような自己理解サポートをしていき、思春期に向けた準備をしていきます。

わたしについて

私の名前は です。

私は 歳で です。

の

通っています。

わたしは どんな人かかいてください

はずかしいがりや あかるい やさしい 元気 活発 努力家
イライラしやすい 悔しがり 遊ぶのが大好き など です。

家族支援

- 定期的な面談を通して、子育てについての相談に応じる。
- お子さんの強み、有効な関わり方について助言を行う。
例 家庭でのスケジュールの提示について
視覚支援や声掛けの方法 など



移行支援・地域支援・地域連携

- ・ 進学、福祉サービスの利用形態についての変更等、お子さんの生活が変化するときにも、必要な支援について、相談・援助を行う
- ・ お子さんが通う小学校との連携
(見学に伺い情報交換を行う、引継ぎ資料を作成しお渡しする等)



職員の質の向上に資する取り組み

- 同法人内の他事業所との合同での研修（月1回）



- 事業所内でのケース検討（月1回）

- 職員それぞれの希望する研修への参加助成



主な行事

- 個人懇談
- 季節に関する行事（夏祭り・ハロウィン・クリスマスなど）
- 調理実習
- 課外活動（お出かけ、地域探索）
- 同法人内のイベント参加

